

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	04	05	0401	都市施設機能改善事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	2	公共交通の確保			
目的	良好な駐車場の運営管理を行う。					
対象	一般市民、近隣市町村民等、新幹線、釜石線等鉄道利用者					
意図	目的外利用者や放置自動車の抑制を図り、駅利用者の利便性を向上させる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
新花巻駅無料駐車場の良好な管理運営をするため、舗装工事及び区画線、フェンスの設置工事を実施。 ○工事箇所：旧第1無料駐車場(胡四王一丁目2番地1) ○工事概要：アスファルト舗装工(5,240㎡)、柵工(140m)、植栽工(18本)、区画線工(1,550m) 樹木撤去工(19本)、木柵花壇撤去工、歩道切下工 ○駐車台数：216台 ○その他 ・放置車両の撤去 ・使用料の設定(駐車場条例の改正 H28.4.1施行)						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 工事発注件数		件	計画		1	1
			実績		1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
/		
目的妥当性	公共関与の妥当性	都市交通施設は公共関与が必要な事務であることから、市が取り組む必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	料金設定、用地拡張等による向上余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の整備費を見込んでいる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	有料駐車場とすることで公平性が保たれる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
有料駐車場として整備することで、放置自動車やマナー違反駐車といった現状課題の改善が図られた。また、使用料の設定に当たっては、24時間まで無料で以後12時間毎に200円加算という安価な設定にすることで、日帰りの定期利用者(通勤・通学者)が従来通り無料で利用できるようにするなど、一定の負担をいただきながらも利便性の低下の抑制を図った。今後についても、同エリアの計画的な整備を行うことで、管理の行き届いた快適で利便性の高い駐車場の提供が期待できる。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 建設部 課名 都市政策課 担当課長 佐々木賢二 内線 560
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	04	05	0401	都市施設機能改善事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		13,946	23,589		9,643
財源内訳	国・県	3,889			△ 3,889
	地方債				
	その他				
	一般財源	10,057	23,589		13,532

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 27 年度 ~ 平成 29 年度]
------	-------	------	-----------------------

部重点施策における目標
都市施設の適正な管理に努める。

事業開始の背景・経緯
放置自動車や混雑時におけるマナー違反駐車など不適切な利用が見られることから、改善を求める声が寄せられている。

事業概要
新花巻駅無料駐車場の良好な管理運営をするため、舗装工事及び区画線、フェンスの設置工事を実施。
○工事箇所：旧第1無料駐車場(胡四王一丁目2番地1)
○工事概要：アスファルト舗装工(5,240㎡)、柵工(140m)、植栽工(18本)、区画線工(1,550m)、樹木撤去工(19本)、木柵花壇撤去工、歩道切下工
○駐車台数：216台
○その他
・ 放置車両の撤去
・ 使用料の設定(駐車場条例の改正 H28.4.1施行)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・ 使用料に関しては、今後の利用状況を見極めながら、随時見直しを検討していく必要がある。
・ 同エリアの将来を見据えた全体的な整備計画を検討する必要がある。

《事業手法の詳細》

H27年度事業実績	項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	放置自動車排除													
	工事施工													
	無料開放													
	駐車場条例改正(使用料)													
	有料での供用開始													

(H28.4.1現在の配置図)

